

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	道の駅湘南ちがさき	階数	2
建設地	神奈川県茅ヶ崎市柳島向河原 地内	構造	S造
用途地域	22条指定区域	平均居住人員	432 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年12月22日
敷地面積	14,970 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社関・空間設計
建築面積	1,442 m <sup>2</sup>	確認日	2023年12月27日
延床面積	2,499 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社関・空間設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p><b>BEE = 1.3</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★</p> <p><b>標準計算</b></p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>62%</td> </tr> </table> <p>0 46 92 138 184 230 276 322 368 414 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	70%	③上記+②以外の	62%	④上記+	62%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	70%									
③上記+②以外の	62%									
④上記+	62%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <b>Q のスコア = 2.8</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 2.5</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 3.0</b></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 3.0</b></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LR のスコア = 3.6</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 4.2</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 2.9</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 3.5</b></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>オール茅ヶ崎の誇りと魅力をつなぎ、地域のブランドシンボルとなるゲートウェイとしての道の駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な利用者に対し丁寧に応える空間デザインの提案</li> <li>さまざまな情報をデザインし、ゲートウェイとしての質を高めます</li> <li>ちがさき愛やCoice!CHIGASAKIのブランド力向上</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>室用途に応じた適切な温湿度状態の確保と温度ムラやドラフトの少ない室内環境の実現を目指します</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>ゆとりある階高やスペースを確保し、道の駅にふさわしい構造や設備をあらわしとする力強い内装デザインとします</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>姉妹都市のホノルルらしさを感じる南国風の植栽計画と、在来種を組み合わせることで、道の駅茅ヶ崎ならではのランドスケープをデザインします</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>NearlyZEBを実現予定。省エネで環境負荷の小さい建物とします</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>有害物質を含まない材料の選定など、環境への悪影響を抑制します</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>建物の省エネ化により地球温暖化に配慮した計画とします</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される